



館報 まつかわ

松川町公民館報
第677号
令和2年3月15日

町の川 ⑱ 福沢川（福与）
20メートルほど下流で、
天竜川と合流します

よ う に 乗 り 切 る か

第57回 公民館研究集会 2月23日(日) えみりあホール



災害時の避難所について考えました

昨年、県内でも大きな被害があった台風19号。「令和元年東日本台風」と名付けられ後世へ教訓として伝えられます。台風への命名は43年ぶりというところで、被害の甚大さがうかがえます。

この台風では松川町でも避難勧告が発令されるなど身に迫った恐怖でもありました。

今回の研究集会では「災害」をテーマにしました。大きな災害に遭った地域の人々の話を聞くと、地域コミュニティ、ご近所づきあいなどがとても大切であるといえます。それを私たちも教訓にしなければなりません。

地域のつながりを大切にする公民館として、災害・防災・減災などに、どう関わっているのか考えておくことは、今、とても大切なことです。

地域の防災力をアップしよう

「災害」がテーマということで、基本的な地域防災についての講演と「避難所運営ゲーム」を体験しました。

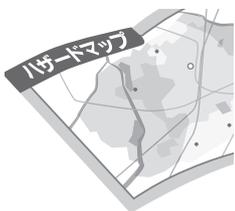
講師は長野県危機管理部危機管理防災課 太田英雄さんです。

本館・地区館をはじめ関係団体・一般参加など110人ほどが参加しました。

講師の太田さんは「災害が起きた時のとっさの行動は、日ごろの行動の積み重ね」だと言います。つまり日ごろから備えておくことが大切で、各家庭では非常持ち出し袋の備えや点検。家族のルールを

話し合っておくことなどです。自主防災会などでも、規模や範囲は違いますが同じことが言えます。

また、避難時の知識なども出来るだけ多く持っていたほうが良いということです。例えば、平成30年7月西日本豪雨災害では、浸水範囲がハザードマップで示されている区域とほとんど同じだったといえます。松川町のハザードマップを見たことはあるでしょうか？



公民館で考えよう

迫りくる 災害 あなたはどの

避難所の運営も 備え次第

避難所運営ゲームでは、大災害が起きた時の避難所運営をゲームで体験しました。

町の担当職員が到着する見込みがない中、自分たちが避難所を運営しなければならぬ状態、避難してくるさまざまな人たちの受け入れ。避難所で起こる問題への対処。などなど次々に起こる出来事に対応していきます。

避難所は学校。体育館は使えますが、そのほかの教室などは使える部屋に限りがあります。食事のことはもちろん、トイレの問題。高齢者への対応。障がい者にも様々な障がいの種類があるため個々に合わせた対応が必要です。



講師 太田英雄さん

さらに、親とはぐれてしまった子ども。ペットを連れてきたことばかりではなく、運営する自分たちの体のことも考えなければなりません。

避難が長期化する場合には、考えなければならぬことは山積みです。

今回はほんのわずかな時間の体験でしたが、例えばゲームでもこの体験をしているかしていないかで避難所の運営にかなり差が出るのではないかと思います。災害の規模、避難所の大きさや部屋の数、避難してくる人数など、その時々で全く違う判断になりうることも考えておかなければなりません。



悩みに悩んだ避難所運営ゲーム

これが実際のことだと思うと…

【あなたはどうか乗り切るか】

災害には、まず個人や各家庭での備えが第一です。そして助け合いには地域の人々の力やつながりが大切になります。

今回の研究集会は「災害時にどうか乗り切るか」というだけでなく「日ごろからどのように過ごすのか」という部分が「どうか乗り切るか」につながっていると、改めて考えさせられました。

地域力を高めるために、公民館の役割は決して小さくありません。

令和元年度 公民館功労者表彰



北原正将さん
中央公民館



細田 勲さん
中央公民館



高坂政憲さん
中央公民館

2月23日(日)に開催された「第57回公民館研究集会」において、中央公民館、各地区公民館の活動にご尽力された15人が表彰されました。



橋場一成さん
古町地区公民館



松村 圭さん
古町地区公民館



下平正弘さん
生田地区協議会
(部奈地区公民館)



宮下紘一郎さん
大島地区協議会
(名子地区公民館)



二村 伸さん
名子地区公民館



遠山哲生さん
名子地区公民館



菅崎 哲さん
名子地区公民館



大蔵政紀さん
上新井地区公民館



水野 淳さん
上大島地区公民館
(お子様作)



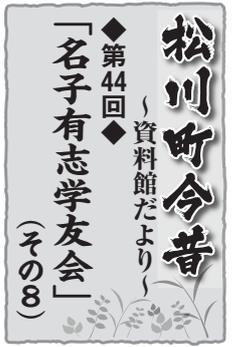
桜井秀樹さん
上大島地区公民館



宮下篤史さん
上大島地区公民館

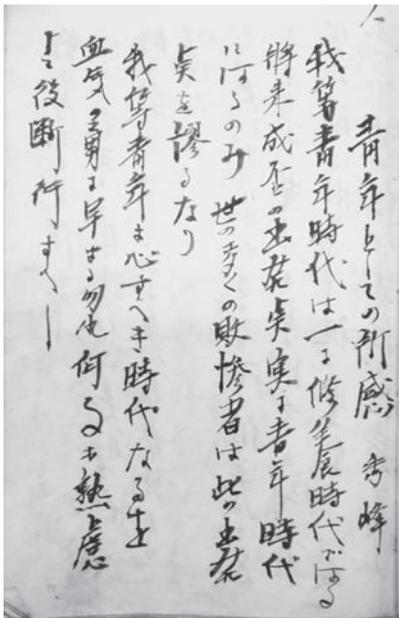


森岡 誠さん
名子地区公民館



前回から会が発行していた「学之友」について、紹介を始めた。今回は大正期から昭和の初めころの「学之友」の載っている文章のいくつかを紹介しよう。

大正3年から5年くらいにかけて、「学之友」は原稿が集まらなかつたのか、なかなか発行されませんでした。大正6年に創立10周年記念祝賀会が実施されたころから再発行が始まりました。しかし以前ほどではなく、年に3〜4冊の発行でした。その中に青年として決意をはっきりと書いた文がありました。それが左の写真の文章です。



「青年としての所感 秀峰
我等青年時代は一に修養時代である。将来成否の出発点、世の多くの敗惨者は此の出発点を誤るなり、我等青年よ心すべき時代なるを、血気の勇に早まる勿かれ、何事も熟慮申して役断行すべし」

二十歳前後の若者の沸き立つ気持ちを表現していますね。文の中の「修養」という言葉が、当時の人たちの自分を高め品性を磨き、人格形成に努めることを表す言葉です。多くの若者たちがそんな気持ちで集まり、話し合い刺激し合っていたことでしょう。

昭和期にはいると、「学之友」の発行は年に1〜2冊くらいとなりました。それでも名子有志学友会の活動は、同じように続けられています。

た。総会・入営壮行会兼談話会・遠足・共同作業・観桜会・映画観覧などです。

昭和に入ってから

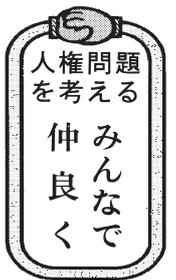
「青年としての所感 秀峰
我等青年時代は一に修養時代である。将来成否の出発点、世の多くの敗惨者は此の出発点を誤るなり、我等青年よ心すべき時代なるを、血気の勇に早まる勿かれ、何事も熟慮申して役断行すべし」

二十歳前後の若者の沸き立つ気持ちを表現していますね。文の中の「修養」という言葉が、当時の人たちの自分を高め品性を磨き、人格形成に努めることを表す言葉です。多くの若者たちがそんな気持ちで集まり、話し合い刺激し合っていたことでしょう。

「不況に対して 秀峰
米国の財界不況と人造絹糸の発達につれて、我蚕糸業は不振を表してきました。その相場の統計を見まするに次の数字が表れます。明治二十八年頃三円十八銭、大正八年十二円三十三銭、昭和四年七円五十八銭 ついに本年度に至りまして五円を割って、平均四円四銭最低一円三十銭気狂いじみた安値になりました。」

色々な情報をしっかりと読み取っているようですね。

松川町資料館
伊坪 達郎



松川中央小学校

人権に関する標語

- けんかをし
思い浮かべる
仲間の
なみだはきつとわすれない
小笠原こゆき
- あのみ笑顔
牛久保心海
- 友情が
たかまるたびに
あがるほほ
壬生 瑞希
- 晴れの日に
笑顔あふれる
友の顔
榎原柚子乃
- 友達と
きずな深めて
笑う声
小島 美波

情報

バモス アアブラール エスパニョール
Vamos a hablar Español!
スペイン語を話そう!

ことばを学ぶ 世界が広がる
スペイン語教室



講師の二人

コスタリカとのホストタウン交流をきっかけに始まったスペイン語教室。これまで延べ600名以上の方が受講されました！
「コスタリカやスペイン語圏の国に行きたい」「言語が好き」「新しいことを始めたい」など目的は様々。どなたもお気軽にご参加ください。

授業スケジュール等は中央公民館へお問い合わせください!

すぽっと

生田地区

芸能文化祭 盛大に開催される

毎年恒例となる生田地区芸能文化祭が2月2日(日)に生東会館とリズム室に於いて盛大に行われました。

例年2月初旬の天候は、雪が降り、寒さも厳しい時期となり、開催者の頭を悩ませる事が多いのですが、好天にも恵まれ、多くの来場者の中で開催する事ができ、生田地区の集いの場として和やかな良一日でした。

来賓には町長さんをはじめ行政関係の皆様にお越し頂き華を添えて頂くと共に、展示・演芸それぞれ熱心にご鑑賞頂きました。



本年度の芸能文化祭の内容は、展示の部として、手芸・押し花・写真など13グループより出品頂き、どれも力作揃いで見ごたえ十分の作品でした。又、試みとして、地区館事業の紹介で、ペーパークラフトや風呂敷利用のバックの展示も行ってみました。



演芸の部は、正午から開会式に続き、保育園児の可愛いダンス・太鼓・大正琴・舞踊・歌など12演目の発表がありました。日頃の練習の成果が発揮されていました。何より元気一杯で活き活きとした姿と笑顔が印象的でした。



最後は恒例となりました、迫力満点のザ・スクーターズステージに魅了されました。又、会場を一層盛り上げて頂きました味の店の皆様有り難うございました。

芸能文化祭の最後は林貞喜区長会長の万歳三唱で幕を閉じました。

これからも生田区民の和やかな笑顔溢れる語らいの集いとして継続し、多くの方が参加されることを期待しています。開催にご協力いただきました皆様から感謝申し上げます。今後とも公民館生田地区協議会へのご支援を宜しくお願い致します。

公民館生田地区協議会
主事 橋場龍司

地区対抗

冬季弓道大会

2月11日に第47回地区対抗弓道大会が行われました。結果は次のとおり。

団体戦

- 優勝 上新井
- 福澤 隆夫・大藏 壽春
- 岩村 和夫
- 準優勝 名子
- 笠原 武明・野牧 初彦
- 福沢 優妃
- 第3位 上片桐
- 森岡眞理子・南島 健

個人戦

- 優勝 福澤 隆夫
- 準優勝 福沢 優妃
- 第3位 南島 健

射詰賞

- 小沢 誠



ハイフマラソン通信



HALF MARATHON in MATSUOKA OF MINAMI-SHINSHU

6回 南信州まつかわ
ハーフマラソン大会

アルプスからの風を受け 駆け抜ける!まつかわ!

2020.9.13.sun. 8:30 START

松川町は、中央アルプスと南アルプスに挟まれた伊那谷の中央に位置しています。りんご畑から稲穂のゆるる河原まで、高低差250mの河原段丘を走るアップダウンコース。アルプスの雄姿と美味しくてあなたの挑戦を応援します!

【問合せ先】大会事務局：電話0265-48-6713



伊那谷専門のカメラマン

平澤 充人さん

先日えみりあで写真の個展を開催された平澤さん。

カメラを手に取ってから、かれこれ37年。当時から松川の有志で発行されていた「月刊はこべ」という雑誌のカメラマンに自ら志願したのが、カメラを持つきっかけになったと話されていました。

当初は風景ではなく、人がメインのグラビアを撮影していたようです。また福祉が発達する前に撮影した入浴サビスの写真が印象的だと当時を思い出しながら語ってくれました。



ある時、伊那谷の魅力に付き、もつと多くの方にこの魅力に気付いてほしい、知ってほしいという思いから徐々に風景を撮るようになられたそうです。

最初は「下手な鉄砲数打ちや当たる」という思いで撮っていたそうですが、現在は「そこに命があるように」撮るのを心掛けているそうです。



平澤さんは「伊那谷を世界でいちばん美しいところ・いいところだと思っています。」と語ってくれました。実際、写真を拝見させていただきま

したが、見慣れた風景にこんな表情があるのかと、ただただ感動してしまいました。平澤さんが見る側に伝えたいことは、写真を見ればすべて伝わるほど、とても綺麗で美しい写真ばかりでした。



先日の個展が最初で最後の個展だとおっしゃっていた平澤さん。長年の夢が叶ったと話される姿はなんともいきいきと輝いていました。最後だといわず、機会があれば是非とも第2回・第3回を開催していただいて、さらに多くの方に平澤さんの写真を通じて、伊那谷の魅力が伝わってほしいなと思います。

短歌

森下延子 (諏訪形)

三歳児を可愛さについ抱きあげて
よろめく夫に衰えをみる

今年また叶いし二人のお花見に
五平餅三本分け合いて食む

たった今夫はウオーキングに出かけたか
居間にコーヒの香り残して

大麦と小麦の区別知らぬとう

若き等と撮る麦秋の風

何ごとか楽しきことが有るさまに

枯れ葉数枝舗装に踊る



中央公民館えみりあギャラリー

ギャラリーへ展示する 作品を募集!

松川町に関係するグループや個人が制作した作品を多くの方に見ていただけるよう、展示作品を募集します。

協力いただける団体(方)は、公民館までお知らせください。

- 展示場所 中央公民館えみりあギャラリー
- 展示期間 作品点数により応相談
- 募集期間 随時受付
- 連絡先 中央公民館えみりあ
電話 0265 (36) 2622



父として子どもと関わったこと

バドミントンを通じた夢の実現を目指して

講師 奥原圭 永氏

令和元年度 まつかわ大学第14期第4講座



バドミントンの女子選手として有名な奥原希望選手のお父さんである奥原圭永さんは、希望さんの小さな頃から写真を示しながら、次のようにお話されました。

希望はやんちゃで元気な子だった。親として子どもの可能性を信じ、いろいろなことを体験させた。その中で強制はせず、何をどうするかは本人が選ぶようにした。負けん気の強い希望は、喜びと悔しさを経験する中で大きな目標をもって粘り強く練習に取り組む、いくつもの大きなけがを乗り越え、バドミントン世界選手権で優勝するという世界有数のプレーヤーになるこ

とができた。

希望には次のことを胸に向き合ってきた。

この世に無駄なことはない。小さなことを大事にして続けること。頼まれごととは試されごと。ピンチはチャンス。壁を超える困難は必ずある。本気になって努力を続ける希望を多くの方が助けてくれた。希望は感謝の気持ちでバドミントンで表そうとしている。

みなさんの感想

- ・人生に無駄な事はない！ピンチはチャンス等とても勉強になりました。
- ・時々、涙が出そうなた時があった。先生の真摯さ、一生懸命さが伝わってきた。
- ・夏でバドミントンを引退する中二の子がいます。そこがゴールではないんだなと思いましたが、見守っていきたいと思います。

「子供の可能性は無量大」私も親としてそれを忘れずに向き合っていこうと思えます！

奥原先生からのお礼の手紙

先日はまつかわ大学でお世話になりました。後になってみると、話忘れてしまったことがいくつかありちよつと悔いが残りました。十分なお話はできませんでしたが、娘の話をお聞きいただき感謝しています。

とともに私の失敗もたくさん指摘されました。今更ですがご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。多くの方々のお世話になりましたが、特に3年4組、1年2組の皆様にはお世話になりました。ありがとうございます。

松川町は私にとって第二の故郷です。友人や元同僚といったなじみ深い人がいることから今回このような機会をいただくことができました。そして何より長野県で教員としてスタートしたのもこの町でした。講演当日は松川中学校の同窓会もあり、そこでは昔の思い出

松川町は東京2020のホストタウンもされているとのこと、素晴らしいですね。松川町、まつかわ大学の更なるご発展と皆様の益々のご多幸をお祈りいたします。このたびは貴重な機会を与えていただき本当にありがとうございます。

2022年

今、日本を騒がせているのが新型コロナウイルスです。恐れていたことに2月末に長野県でも感染が確認されましたね。感染が広がる一方で、懸念されるのが治療薬が無いことです。

コロナ関係でマスクが世の中から不足し、2月末にデマ情報が流れた事で、トイレトペーパーやティッシュペーパーまでもが無くなってしまいう出来事が起こりました。赤ちゃんのオムツまでも無くなっていてビックリしました。本当に欲しい人の手元に物が行き渡らず困った人もいたと思います。自分もその中の一人でした、子を持つ私自身、数店舗を回り何とかオムツは確保できたので良かったです。こういったデマが流れるのは何故だろうと考えます。現在SNSと言うツールも多種多様となり簡単に拡散されてしまう恐ろしさがあります。本当の真実がわからないのが一番怖いんですね。

話は戻りますが、これが皆さんに読まれる頃にはコロナウイルスが収束していることを願います。外出から帰ってきた際はまず、手洗いうがいを心掛けたいですね！

米山拓也

公民館報
「まつかわ」
第 677 号
令和2年3月15日
発行所 松川町公民館 誠
責任者 小 沢 誠
編集者 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)